

Letter No. 21

雪崩分科会レター

雪崩分科会例会のご案内
雪崩分科会幹事会のご案内
1997年度活動報告
1998年度活動計画
新規研究企画募集
気象研究ノート「雪崩」刊行のお知らせ

1998年10月3日発行
(社)日本雪氷学会 雪崩分科会

雪崩分科会例会のご案内

●例会

下記の要領で雪崩分科会例会を開催いたします。分科会会員の方はふるってご参加ください。

総会後には、全国大会が新潟県塩沢町で開催されることにちなんで、昭和20年代から40年代に塩沢雪害防止実験所で活躍された荘田幹夫博士の雪崩研究について、氏に造詣の深かった方からの話題提供をいただく予定です。

分科会員以外の方々の参加も大歓迎です。

記

開催日時：1998年10月13日(火) 17:00~19:00

場所：新潟県塩沢町公民館研修室

内容：総会

話題提供：「**荘田幹夫の雪崩学**」(17:30頃~)

話題提供者：中島 洋氏 ((株)応用気象エンジニアリング)

「荘田幹夫先生による人工雪崩実験とその成果」

新田隆三氏 (信州大学農学部教授)

「輝ける雪崩研究者：荘田幹夫先生」

詳細については雪崩分科会幹事長 上石まで((株)アルコス XXXXXXXXXX)

荘田幹夫博士について

1924年 東京都に生まれる。

1947年 北海道大学を卒業後、鉄道技術研究所に勤務。塩沢実験所が設立され、赴任。以後、電線着雪、積雪の沈降力などの研究を行う。

1956年 雪崩の研究を開始。翌年、火薬による人工雪崩実験を行う。

1966年 「なだれの発生機構に関する一連の研究」で雪氷学会学術賞を受賞。

1972年 国立防災科学技術センター雪害実験研究所に所長として赴任。

1974年 逝去。享年50歳。

現在、長岡技術科学大学図書館には「荘田文庫」があり、荘田博士の著書、論文、資料などが残されている。

●懇親会

例会後懇親会を予定しております。場所については例会当日お知らせいたします。ふるってご参加お願いいたします。

雪崩分科会幹事会のご案内

●幹事会

日時、会場については雪氷学会大会中に会場に掲示しお知らせいたします。雪崩分科会幹事の方はご参集ください。

1997年度活動報告

1. 1997年度雪崩分科会総会

日 時：1997年10月12日

場 所：山形大学農学部

出席者：約30名

活動報告・会計報告がなされ、続いて以下の話題提供が行われた。

防雪施設の今昔 (株)イヌヅカ 阿部 勉

2. ニュースレターの発行 (レター19、20)

3. 第3回全国山岳・スキー場雪崩安全セミナーの開催協力

日 時：1997年9月28日

場 所：京大会館

参加者：約100名

講演

「山岳指導者の法的責任と雪崩事故を回避する義務」 弁護士 中島嘉尚
分科会

第一分科会 「雪崩・ここまで知っておこう」

報告助言者 新田隆三 (信州大)、滝上 肇 (日本勤労者山岳連盟)

司会 山田和人 (京都大学学士山岳会)

第二分科会 「スキー場でこんな雪崩が起きている」

報告助言者 和泉 薫 (新潟大)、新谷暁生

司会 元村幸時 (白馬コルチナ国際スキー場)

第三分科会 「埋没者の発見と現場の応急処置は」

報告助言者 中山建生 (日本勤労者山岳連盟)

阿部幹雄 (北海道雪崩事故防止研究会)

司会 松井武勇 (日本勤労者山岳連盟)

4. 第9回雪崩対策の基礎技術研修会の開催協力

日 時：1997年4月9日-4月11日

場 所：新潟県南魚沼郡湯沢町

受講生：36名

5. 日本鋼索交通協会主催雪崩講習会の開催協力

日 時：1998年1月20日-21日

場 所：新潟県南魚沼郡塩沢町、湯沢町

受講生：約50名

1998年度活動計画

1. 1998年度雪崩分科会総会

全国大会期間中に開催予定

2. ニュースレターの発行 2回

3. 全国山岳・スキー場雪崩安全セミナーなどの開催協力

日 時：1998年9月20日

場 所：横浜

4. 第10回雪崩対策の基礎技術研修会の開催協力
日 時：1999年4月予定
場 所：新潟県湯沢町予定
5. 日本鋼索交通協会主催雪崩講習会の開催協力
日 時：1999年2月4日
場 所：蔵王えぼしスキー場
6. その他

新規研究企画募集

雪崩分科会ではその活動を活発化するため、会員間に関心のある調査・研究課題等について研究会を組織し、より多くの関心のある人達の検討を加えて研究が発展することを目的として会合費程度の援助をするようにしてあります。

企画の応募をご希望の方は、形式はありませんが、研究部会名、簡単な目的と内容、代表者名（世話役）等を明記して下記までお知らせください。

雪崩分科会幹事長 上石勲

（株）アルゴス

『これまでの採択状況』

- 1990～1992年：雪崩ダイナミックスワーキンググループ（代表 前野紀一）
- 1993～1994年：模擬雪崩研究部グループ（代表 納口恭明）

気象研究ノート「雪崩」刊行のお知らせ

雪崩に関する最新の研究成果をまとめた、気象研究ノート（日本気象学会発行）第190号、「雪崩」が去る7月に発刊されました。編集者は当分科会員である西村浩一氏（北大低温研）であり、内容の大部分は当分科会員により執筆されました。入手方法などのお問い合わせは、編集者の西村氏または当分科会幹事長の上石へお寄せ下さい。

（社）日本雪氷学会 雪崩分科会
事務局

（株）アルゴス 雪氷技術センター 上石 勲

Letter No. 21 編集・発行：

上石 勲 （株）アルゴス 雪氷技術センター

小杉健二 防災科学技術研究所 新庄雪氷防災研究支所